

町内の小学校へ文房具セットをプレゼント

赤い羽根共同募金事業のスクール支援の一環として、町内小学校の全生徒さんへ、えんぴつ等文房具セットを令和3年9月27日に寄贈いたしました。

添田町支会では、令和2年から学校募金を始めさせていただき、そのお礼も兼ねまして全校生徒へ寄贈させていただいた次第です。

学校指定の文房具や赤い羽根共募とコラボしたドラえもんクリアファイルは、各小学校の生徒さんや先生たちから喜びの声をいただくことが出来ました。



(写真)添田小学校で文房具寄贈の様子
左から:益田茂校長・6年生代表:井元結生さん・深見悠斗7さん・本会、田中事務局長

たくさんの学校募金が集まりました(*^-^*)

毎年全国一斉に始まる、赤い羽根共同募金ですが、今年度は、町内5校の小学生にドラえもん募金箱を配り、募金活動をしていただきました。

10月5日～11月5日までの1カ月間という短い期間での募金週間でしたが、なんとっ!!

🌟 33, 201円 🌟

もの募金が集まりました。

中には募金箱いっぱいにお金を入れてくださった生徒さんもいました。

小学生の皆様方の温かい気持ちは大切に地域福祉増進に役立たせていただきます。



こんなに、たくさんもの
あたたかい募金が集まりました



今年もご協力ありがとうございました
来年度もよろしくお願いいたします



赤い羽根バッグ及び赤い羽根タオル配付事業

～一人暮らし高齢者、心身障がい者1級・2級の方を対象～

赤い羽根運動につきましては、皆様方の深いご理解とあたたかいご支援により、社会福祉事業に対する援助活動の一環として実施出来ておりますことを厚くお礼申し上げます。

現在も、コロナ禍が続く中で、感染リスク拡大防止の観点から、今年は民生委員児童委員さんご協力のもと、一人暮らし高齢者の方へ「赤い羽根バッグ」を、ポスティングの方法で配付させていただきました。心身障がい者1、2級の方へは、当共同募金会から郵送の方法で、お配りさせていただきました。

右の写真は、今年度配付した支援物資でございます。



赤い羽根バック



赤い羽根タオル

田川地区社協連絡協議会災害ボランティアセンター設置・運営訓練が行われました

令和3年11月20日（土）にスマイルプラザ田川にて、災害ボランティアセンター（災害VC）の設置・運営訓練を総勢64名参加の元、新型コロナウイルス感染症予防を図りながら行われました。

この訓練は、田川地区社協連絡協議会が実施しています。今年は、本会が事務局を担当しており訓練を行うに当たって田川市社協さんと共に協力をしながら、充実した災害VC設置・運営訓練が出来ましたことをご報告いたします。

ロールプレイの様子



調印式にて記念撮影

左：田川地区社協連絡協議会 会長 照瀬
右：九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤氏



<オリエンテーション班>

活動時の注意事項やボランティア保険の未加入者を受付へ誘導



<ニーズ班>

ボランティアの場所、必要な人数等を割り出しマッチング班へ報告



<藤澤氏による講義>

「コロナ禍における災害VCの機能と役割」



<受付班>

ボランティア受付時の検温・消毒を実施



<マッチング班>

活動報告・作業の進捗状況等の確認



各班の班長・副班長会議



<マッチング班>

ボランティアの活動者を作業ニーズごとに分け、現場へ誘導



参加者による訓練全体の振り返り

今回は、新型コロナウイルス感染症影響下での災害VCの運営訓練とし、ホームページで事前にボランティア登録、保険加入をされて来たことを想定して、実施しました。

訓練では、コロナ禍における災害VCの機能と役割に対する理解や設置・運営に対するイメージが出来たこと、様々な突発的な事項に対しての対応等を身につけ各班のポイントを学ぶことが出来ました。

災害は、いつ起こるか分からない
その時の為に私たちは日々、努力し努めます！

